

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		地域資源を生かしたまちづくりと観光の魅力化	裾野市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	五竜の滝で裾野市を有名に		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報

下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	22		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	ドロップダウン選択一	2. 学生
チームメンバー数(公開)	4 名		
代表者(公開)	眞野憂海		
メンバー(公開)	伴理緒奈、土屋竜牙、千葉晃稀		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名（[メンバー一覧ページ](#)を参照）、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 →

OK

＜チームメンバー名簿：[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動（サービス）を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。**2 ページ以内**でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

・裾野市に観光で来る人口が少ない

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

（何を）

裾野市の魅力である観光地の五竜の滝を有名にする。

（誰が誰に対して）

裾野高校 2 年生が裾野市の観光状況に対して

（いつ）

春先

（どこで）

旧植松家住宅

（どのように）

裾校の茶道部に協力してもらって、お茶会を開く。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

裾野市の観光地としてあげられるものとして五竜の滝があげられており、その五竜の滝の良さをもっと広めて、裾野市を有名にする。

五竜の滝では今5月にみどりまつり、7月に中央公園夏祭りというものが開催されている。現在コロナが流行った後、コロナが落ち着いて5類になってから、観光客が平年のときと同じくらいに回復はしているが、未だ少数の方にしか来てもらうことができていない。

裾校生にアンケートを実施したところ、来たことがある人の中でもう一度来たいと思っている人がほとんどだった。この結果から、来てもらったときの満足感はあるものの、一番最初のくる段階がない人が多いことで、観光客が増えていないことがわかった。観光客を増やすためには、一番最初のくる段階を踏む人を増やす必要がある。

コロナが流行る前、3度ほど秋先で裾校の茶道部が掃除会をしたあと、お茶会を開いていた。現在それがコロナの影響でなくなり、できていない。

春に五竜の滝にはきれいな桜が咲いて、そこで何かイベントを開くことができないか、と考え、春先に、裾校の茶道部に協力してもらい、お茶会を開く。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

理由1：裾野市の人口、観光客が少ないから。

令和2年以降コロナによる制限で観光客が減少してきたが、令和4年コロナが五類になり、制限がほとんどなくなった。その結果、約2万人ほど観光客が増加したが、未だに人数は少ない。

裾野市は人口が減少しており、さらに高齢化もしてきている。このままでは将来の裾野市の経済などが危険になる可能性がある。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

理由 2：観光地としてあげられる五竜の滝が活かされていると思えないから。

裾野市の観光地としてあげられる五竜の滝だが、裾野市に訪れている人はほとんど五竜の滝の存在を知っているが、裾野市を知らない人、県外の人、インバウンドの方などには知られている割合が低い。

現在、五竜の滝に訪れている人は、再度訪れる方、お年寄りの方、小さいお子様がいる家族などが多く、初めて来る方は少ない。

そのため、初めて来る方を増やすためにアイデアを提案する。

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. グループのメンバー

2. 裾野高校茶道部の生徒
五竜の滝を訪れてくれる人(イベントに参加してくれる人)

お茶

3. 2024年4月:プロジェクト設計
12月:協力依頼

2025年3月:イベント実施